

参考資料 ファイアーのつどい

営火場階段照明スイッチ



コンセント差込口



営火場の火床  
(蓋は重いので注意)



グラウンドでの  
ファイアー場所 A

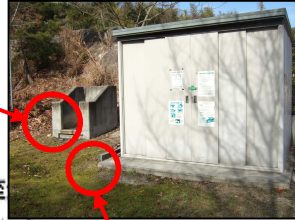


一輪車



カッター研修施設 (徒歩 0分)  
水泳場 (徒歩 10分)  
荒代海岸 (徒歩 10分)

灰捨て場

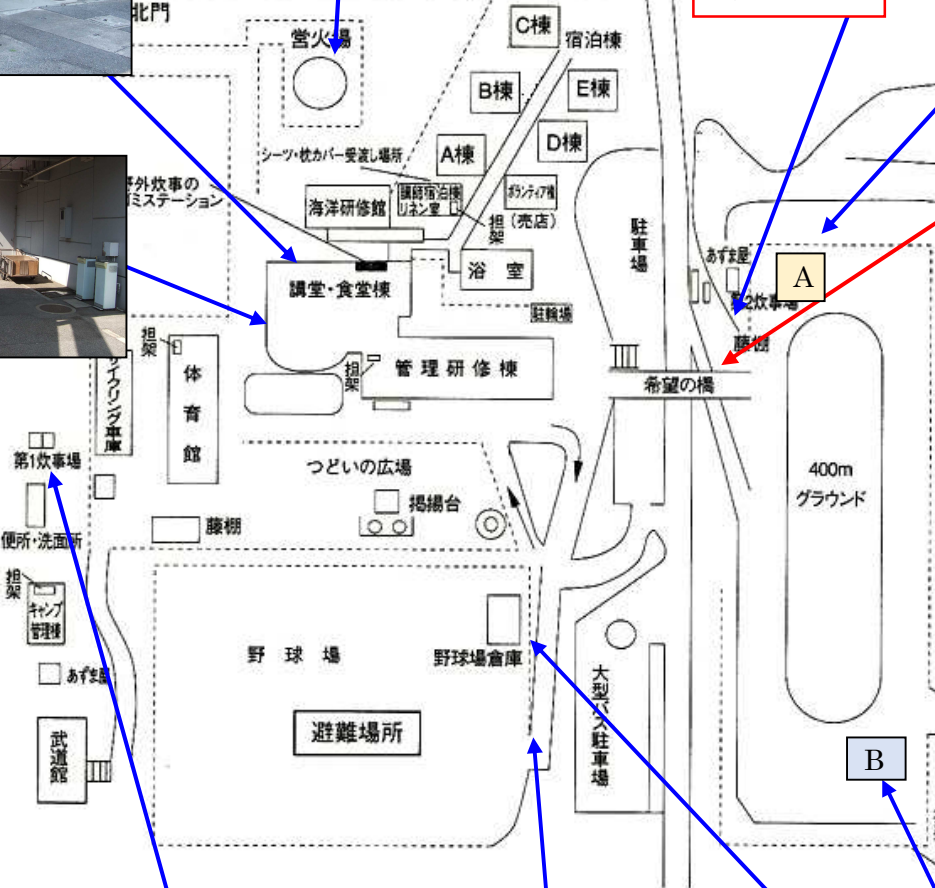


ほうき・スコップ



コンセント差込口

リヤカー



コンセント差込口

コンセント差込口



グラウンドでの  
ファイアー場所 B

ほうき・スコップ



灰捨て場



コンセント差込口  
ブレーカースイッチ



# ファイアーのつどい 薪の組み方（例）

必ず薪台（営火場は火床）の上に薪を組む。



1. 火持ちをよくするために1束縦に置く



2. 周りに8角形に薪を組んでいく（太いものから）



3. 束と同じくらいの高さまで組んだら束の周りに新聞紙をねじって入れる。



4. 細い薪を束の周りに入れていく



5. 8角形に組んだものの上に正方形に薪を組んでいく。



6. 残った薪は、薪台の周りに3～4m以上離して放射状に並べる。

7. 灯油を薪にかけると（300m L程度）点火と同時に勢いよく燃える。

○進行例○

	団体指導者の動き	職員の動き
実施前	①事務室から必要に応じてコードリール・アンプ・ワイヤレスアンプ・バケツ・火ばさみを受け取る。 ②実施場所のコンセント等の確認をする。 ③実施場所で薪を組む。 ④トーチに灯油をしみこませておく。	準備物の貸し出し
事前指導	集合場所：かんぼラジオ体操広場 ①グループ毎に整列 ②健康観察 ③ねらいと注意事項の確認	・暗いので足元に注意して歩く。 ・草むらや茂みには入らない。 ※マムシ等の危険がある。 ・けが、体調が悪くなったら、引率者に連絡する。
進行	第1部 ① 入場 ② 歌「遠き山に日は落ちて」 ③ 火の神入場→火の神の言葉→点火 ④ 歌「燃えろよ燃えろ」 ⑤ 営火長のことば（火にまつわる話） 第2部 歌、スタンプ、ゲームなどで盛り上がる 第3部 ① 歌「一日の終わり」 ② 沈黙（黙って火を見つめる） ③ 誓いの言葉（各班代表、各クラス代表など） ④ 営火長終わりの言葉 ⑤ 歌「今日の日はさようなら」 ⑥ 退場 ※監視担当者は常に適切な火加減となるよう調節を行う。	
事後指導	① 救護担当者に健康観察をさせる。 ② まとめをし、解散する。 ③ ファイアーのつどいの研修終了を交流の家へ報告するとともに、借用物品の返却をする。	※薪台・火床に直接水をかけて消さない。(薪台や耐火レンガ(営火場)が割れるおそれがあるため。)
片付け	監視担当者は次の方法で片づけを行う。 ① ファイアーの火は水をかけて消さない。 ② 営火場…火のついた薪・炭を火床中央に集め、おき火の状態になってから、営火場に置いてあるフタをかぶせる。 野球場・グラウンド…火ばさみで残り火をバケツに入れながら消火する。 水につけた後は並べて置いておく。薪同士が近いと再発火する可能性があるため、注意する。 ③ 翌朝の清掃時間に、灰は灰捨て場へ運ぶ。 ④ トーチをレンタルした場合は、トーチをボランティア棟1F 売店 イシダスポーツに返却する。	※営火場・野球場：第1野外炊事場 グラウンド：第2野外炊事場の灰捨て場を使用